

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2021年1月7日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



コロナ禍の今こそ建学の精神に学ぼう

明けましておめでとうございます。生徒・保護者の皆様のご健康をお祈りいたします。今年も新型コロナに対する警戒をいっそう強めながらの生活となりそうです。引き続き感染予防のための注意をしてください。年始にあたり、学園の建学の精神（抜粋）を掲載します。（「高校生活の手引き」に収録）
「…この悩める時代の苦難に身をもって当たり、大慈悲心、大友愛心を身に負うて、社会の革新と進歩のために挺身する志の人を、この大学を中心として輩出させたいのであります。それは単なる学究ではなく、また自己保身栄達のみには汲々たる気風ではなく、人類愛の精神に燃えて立ち上がる学風が、本学園に満ち溢れたいものであります」（ハンセン病患者や戦災孤児の救済に生涯を尽くされた学園創始者鈴木修学先生の言葉）
自分たちが注意するのはもちろんのこと、助け合い励まし合いながら困難を乗り越えましょう。（校長）

『失敗を恐れるな』

君はこれまで何度も失敗した きっと覚えてはいないだろうが

はじめて歩こうとしたあの時君は転んでしまった
はじめて泳ごうとしたあの時 君は溺れそうになった そうじゃなかったかい？

はじめてバットを振ったとき バットはボールに当たったかい？

強打者たち、ホームランを一番よく打つヒッターはよく三振するものだ。

R. H. メーシーは、7回も失敗したあとで ようやくニューヨークの店を成功させた。

英国の小説家ジョン・クリーゼーは 564冊の本を出版する前に 753通の断り状を受け取った。

ベーブ・ルースは 1330回三振した、だが 714本のホームランもかっ飛ばしている

失敗を 恐れちゃいけない トライもしないで逃がすチャンスこそ 怖れた方がいい。

（1987 学生社「アメリカの心」～全米をゆるがした75のメッセージより）

全国大会出場決定！

～和太鼓部 8月和歌山へ～

昨年 11月に予定していました高文連郷土芸能部県大会は、新型コロナの影響で中止となりましたが、その代わりに複数の審査員による「ビデオ審査」が行われました。昨年末に審査結果が学校に届きました。本校は上位2校の中選ばれ、今年8月の全国大会の出場権を得ることができました。コロナ禍でもあきらめず、朝夕毎日練習に励んだ成果が実りました。おめでとう。



1月の予定

- 1月7日（火）始業式・学年集会・HR
- 11日（月）成人の日
- 16日（土）・17日（日）大学入学共通テスト
- 21日（木）1, 2年模試（2年は22日も）
- 24日（日）英語検定一次（外部会場）
- 26日（火）午前授業
- 27日（水）推薦入試（自宅学習）
- 30日（土）後援会役員会 PTA役員会
1, 2年進路説明会（保護者）

ありがとうございました

～後援会から助成をいただきました～

2学期終業式後、本校後援会から教育・課外活動に対する助成の授与式がありました。部活動や文化祭の援助、英検や海外語学研修、国際交流助成、和太鼓部全国大会褒賞など総額540万円余りの援助をいただきました。生徒にとって大きな励みとなります。さらにそれぞれの活動に頑張ってもらいたいと思います。



コロナ禍に
水仙の香り
清々し（拙作）